



平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年7月31日

上場会社名 株式会社カワタ 上場取引所 東  
 コード番号 6292 URL <http://www.kawata.cc/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白井 英徳  
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員管理部門統括(氏名) 橋本 真喜 (TEL) 06-6531-8211  
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日~平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	5,567	35.7	564	447.2	584	584.2	406	—
30年3月期第1四半期	4,103	△0.1	103	△53.1	85	△50.5	11	△83.7

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 250百万円( —%) 30年3月期第1四半期 △64百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	57.41	—
30年3月期第1四半期	1.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	21,802	8,831	39.8
30年3月期	22,046	8,665	38.6

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 8,676百万円 30年3月期 8,516百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	6.00	—	12.00	18.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日~平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,900	21.0	865	111.2	815	114.6	580	171.4	81.90
通期	21,400	5.2	1,490	32.5	1,390	35.0	980	7.7	138.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	7,210,000株	30年3月期	7,210,000株
② 期末自己株式数	31年3月期1Q	128,216株	30年3月期	128,216株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	7,081,784株	30年3月期1Q	7,081,784株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2頁「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
4. その他	8
(1) 生産、受注及び販売の状況	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

世界経済は緩やかに回復しておりますが、中東や朝鮮半島における地政学的リスクもあり、不透明な状況となっております。先進国におきましては、米国の自国第一主義に伴う貿易摩擦や英国のEU離脱問題等、先行きに対する懸念が存在しております。一方、中国をはじめとする新興国の経済成長率も先進国と比較すると高いものの、その拡大テンポは緩やかになっております。

わが国経済は、世界経済の変調や急激な為替・株価の変動に伴う影響が懸念される一方で、生産や設備投資は緩やかに回復を続けており、企業収益や業況判断も改善してきております。また、設備投資の動向を知るうえで先行指標の一つである機械受注統計の推移を見ても、製造業の機械受注額は、平成29年7～9月は1兆1,467億円（前年同期比9.2%増）、10～12月は1兆1,873億円（同13.3%増）、平成30年1～3月は1兆2,168億円（同10.6%増）、4月は4,479億円、5月は4,538億円と、増加傾向が続いております。

このような環境下、当社グループは、プラスチック成形関連のコアビジネスにおきまして、品質の向上、納期の確守、新製品の開発等、競争力強化によるマーケットシェアの拡大を図るとともに、電池、食品、化粧品等の新規販売分野の開拓・拡大に注力してまいりました。

この結果、当第1四半期における受注高は前年同期比19億2千4百万円増（同36.2%増）の72億3千5百万円、受注残高は前年同期比27億2千9百万円増（同46.9%増）の85億4千4百万円となりました。また、売上高につきましては、自動車関連や電子部品関連の需要が堅調に推移したこと等により、前年同期比14億6千4百万円増（同35.7%増）の55億6千7百万円となりました。

損益面では、売上高増加に伴う売上総利益の増加と売上総利益率の改善（28.8%→32.6%）等により、営業利益は前年同期比4億6千1百万円増（同447.2%増）の5億6千4百万円、経常利益は前年同期比4億9千8百万円増（同584.2%増）の5億8千4百万円となりました。

特別損益では1百万円以上の発生科目は無く、法人税、住民税及び事業税1億1千8百万円、法人税等調整額5千1百万円を計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比3億9千5百万円増（同3,482.9%増）の4億6百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、仕掛品、原材料及び貯蔵品が増加しましたが、受取手形及び売掛金が減少したこと等により1億1千2百万円減少し、161億4千7百万円となりました。固定資産は、前連結会計年度末に比べて、建物及び構築物、機械装置及び運搬具、投資有価証券が減少したこと等により1億3千万円減少し、56億5千5百万円となりました。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて2億4千3百万円減少し、218億2百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、支払手形及び買掛金が増加しましたが、短期借入金、前受金、未払法人税等が減少したこと等により6億9千3百万円減少し、89億1千6百万円となりました。固定負債は、前連結会計年度末に比べて、社債、長期借入金が増加したこと等により2億8千4百万円増加し、40億5千4百万円となりました。この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて4億8百万円減少し、129億7千1百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて、為替換算調整勘定が減少しましたが、利益剰余金が増加したこと等により1億6千5百万円増加し、88億3千1百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界経済は全体としては緩やかな回復基調ではあるものの、米国の自国第一主義に伴う貿易摩擦、英国のEU離脱問題、中国等新興国経済の減速に加えて、中東や朝鮮半島における地政学的リスク等、予断を許さない状況であります。わが国経済も、世界経済の変調や急激な為替・株価の変動に伴う影響が懸念される状況であります。

このような環境下ではありますが、当社グループにおきましては、最近の業績動向等を踏まえ、平成30年7月31日に業績予想の修正を行っております（詳細は平成30年7月31日付「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい）。今後も、コアビジネスにおける更なる競争力強化、グループ内での連携強化、新規販売分野の開拓・拡大のスピードアップ等、重点施策を着実に実行し、修正計画の達成に注力してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

## 3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,395,670	4,491,048
受取手形及び売掛金	8,141,999	7,441,476
商品及び製品	921,627	888,171
仕掛品	1,236,363	1,413,825
原材料及び貯蔵品	1,218,739	1,441,316
その他	387,806	506,352
貸倒引当金	△42,514	△34,900
流動資産合計	16,259,692	16,147,291
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,477,024	2,404,811
土地	1,401,799	1,393,428
その他(純額)	575,267	562,785
有形固定資産合計	4,454,091	4,361,024
無形固定資産		
その他	400,857	388,421
無形固定資産合計	400,857	388,421
投資その他の資産		
その他	933,653	908,167
貸倒引当金	△2,120	△2,120
投資その他の資産合計	931,532	906,046
固定資産合計	5,786,481	5,655,492
資産合計	22,046,173	21,802,784
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,438,341	3,637,237
短期借入金	3,503,196	2,897,141
1年内償還予定の社債	200,000	237,500
未払法人税等	173,102	122,322
製品保証引当金	115,305	125,496
役員賞与引当金	68,625	5,800
その他	2,111,867	1,891,459
流動負債合計	9,610,439	8,916,958
固定負債		
社債	200,000	312,500
長期借入金	2,627,625	2,733,894
役員退職慰労引当金	182,844	185,721
退職給付に係る負債	712,204	739,142
その他	47,120	83,130
固定負債合計	3,769,793	4,054,387
負債合計	13,380,233	12,971,345

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	977,142	977,142
資本剰余金	1,069,391	1,069,391
利益剰余金	5,957,230	6,278,829
自己株式	△43,659	△43,659
株主資本合計	7,960,104	8,281,703
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	165,939	143,910
為替換算調整勘定	390,558	250,686
その他の包括利益累計額合計	556,498	394,597
非支配株主持分	149,337	155,137
純資産合計	8,665,940	8,831,438
負債純資産合計	22,046,173	21,802,784

## (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第 1 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成29年 4 月 1 日 至 平成29年 6 月 30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成30年 4 月 1 日 至 平成30年 6 月 30日)
売上高	4,103,025	5,567,791
売上原価	2,920,979	3,750,564
売上総利益	1,182,046	1,817,226
販売費及び一般管理費	1,078,879	1,252,695
営業利益	103,166	564,530
営業外収益		
受取利息	1,868	2,107
受取配当金	3,947	4,540
為替差益	—	31,042
保険解約返戻金	969	—
固定資産賃貸料	2,816	2,702
その他	2,962	1,930
営業外収益合計	12,564	42,323
営業外費用		
支払利息	21,917	19,820
為替差損	6,928	—
その他	1,525	3,031
営業外費用合計	30,372	22,852
経常利益	85,358	584,001
特別利益		
固定資産売却益	866	258
特別利益合計	866	258
特別損失		
固定資産除売却損	432	348
特別損失合計	432	348
税金等調整前四半期純利益	85,792	583,912
法人税、住民税及び事業税	82,863	118,304
法人税等調整額	△10,219	51,062
法人税等合計	72,644	169,367
四半期純利益	13,148	414,544
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,347	406,579
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,800	7,965
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,846	△22,028
為替換算調整勘定	△75,516	△142,036
その他の包括利益合計	△77,363	△164,065
四半期包括利益	△64,215	250,479
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△66,848	244,678
非支配株主に係る四半期包括利益	2,633	5,800

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## 4. その他

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## ① 生産実績

当第1四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。なお、北中米には生産拠点が存在しないため、記載しておりません。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
日本	3,058,245	51.1
東アジア	1,529,981	66.6
東南アジア	260,427	15.5
合計	4,848,654	53.0

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。  
 2 金額は販売価格によっております。  
 3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ② 受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
日本	3,862,494	23.7	4,617,766	30.3
東アジア	2,557,976	44.0	3,188,271	69.7
東南アジア	738,877	112.9	634,525	75.8
北中米	76,559	19.9	104,244	216.1
合計	7,235,908	36.2	8,544,808	46.9

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。  
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ③ 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
日本	3,041,602	27.0
東アジア	1,850,275	69.3
東南アジア	642,570	26.0
北中米	33,343	△68.1
合計	5,567,791	35.7

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。  
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。